



# 小学部 国語科 一題材の実践事例

題材名：『宝を集めよう2』で、宝の在り処を聞き取り、その場所に行って宝を集めよう

授業者：津崎 有花

## 学習指導要領の段階と内容

小学部2段階 A 聞くこと・話すこと

**知・技**：ア(ア)身近な人の話し掛けや会話などの話し言葉に慣れ、言葉が、気持ちや要求を表していることを感じる。

**思・判・表**：イ簡単な指示や説明を聞き、その指示等に応じた行動をすること。

**学 び**：言葉がもつよさを感じるとともに、読み聞かせに親しみ、言葉でのやり取りを聞いたり伝えたりしようとする態度を養う。

## 題材目標

知・技

『宝を集めよう2』で、宝の在り処を聞く時、聞き取る二つの要素がわかり、聞き取った言葉(場所・物)の写真やイラストカードを聞き取りボードにはる

思・判・表

宝の在り処を聞く時、聞き取った言葉の意味を考え、宝の在り処を判断し、宝が入っている封筒を取って来る

学 び

宝の在り処を聞いて宝を集める課題に繰り返し正しく取り組む

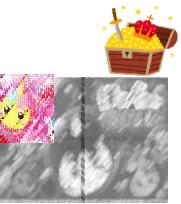
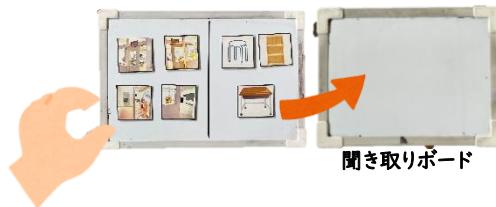
## 教材と仕組み

教材名：『宝を集めよう2』

①宝の在り処の指示を聞く。

②聞き取った内容(場所と物)の写真・イラストカードを聞き取りボードにはる。

③聞き取った内容に沿って行動し、宝(パズルのピース)を集める。



## 観点別評価

知・技

「さくら組のいす」などの宝の在り処を聞いて、二つの要素(場所・物)の言葉の写真やイラストカードを聞き取りボードにはることができた。

思・判・表

聞き取った内容が示すところや物から宝が入った封筒を取って来ることができた。

学 び

宝の在り処を聞いて、宝を集める課題に繰り返し正しく取り組む姿が見られた。

## 関連する授業づくりの手順

知識及び技能と思考力・判断力・表現力等の指導の計画を立てる

教材の仕組みを決定する

学びに向かう力・人間性等を涵養するための計画を立てる

R研で毎時間の授業の評価・改善



## 二つの聞き取る要素がわかるための題材計画の工夫

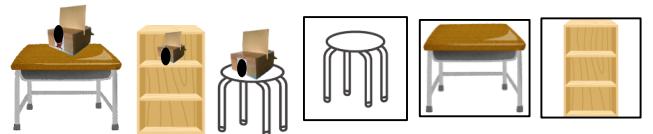
実態(知・技)

○教室の名称を表す写真カード(もも・うめ・さくら・プレイルーム)を提示し、特定の教室名を伝えると、その写真カードを選び取ることができる。→場所を表す言葉の理解ができていない。

△物の名称を表すイラストカード(机・棚・イス)を提示し、「宝物はイスにあるよ」などと、特定の物の名称を含む指示を伝えると、そのイラストカードに目線を向けたまま動きが止まる。

→物を表す言葉の意味の理解ができていない。

物の名称を表す言葉の意味の理解の学習を重点的に行う



一致!!

場所と物の二つの要素を組み合わせる



## 二つの聞き取る要素がわかるための働きかけの工夫

「わかること」に迫る働きかけ

例

- ・さくら組といすの二つを聞き取ることができたね!
- できたことを具体的に伝える認め
- ・さくら組といすの二つを聞き取ることができたから、宝が集まったね!
- 聞き取るよさの意味づけ

二つのことを聞き取るとパズルが完成するんだ!

教具を使って...



振り返りで、発表する場面の設定

どんなことを聞いたら宝が集まったの?

## 考察

- ・「宝の在り処を聞き取る」→「宝を探す」→「宝が完成する」という以前実施した題材と同様の教材の仕組みを用いて学習を進めたり、興味・関心のあるイラストや写真を分割した物を宝にし、課題数を量で示したりしたことで、すべての課題を終えるまで取り組むことができたと考える。
- ・今後、聞き取る内容(要素)を増やすにあたって、どのような内容をどのような順番で、どの程度の指導時数をかけて取り上げていくのかを十分に検討していきたい。